



# 進路だより

愛知県立豊川特別支援学校本宮校舎

進路指導部 第2号

令和7年1月7日

2学期は1年生は「第1回校内実習」、2年生は「第2回現場実習」、3年生は「採用試験」とそれぞれが自分の目標に向かって取り組んだ学期だったと思います。保護者の皆様、御協力ありがとうございました。

## 1 働くために必要な力や求める人材について

雇用から3年目までを迎える企業に対して、「勤務状況調査」を依頼しました。36社から回答をいただき、企業が考える働くために必要な力や求める人材について御紹介します。

### 働くために必要な力や求める人材

- ・自分が困っている・悩んでいるときに「困っている・悩んでいる」、また自分の意思を発言できる。
- ・同じ作業ばかりではなく、苦手なことにもチャレンジできる。
- ・毎日、元気に出社できる体力と精神力。遅刻、無断欠勤をしない。
- ・健康管理をし、休みが少ない人。
- ・決められたルールを守り、不明点等は、周りに質問ができる。
- ・素直さ、真面目さ、謙虚さ、勤勉さ
- ・協調性、自主性、責任感がある人。
- ・周囲とのコミュニケーションがとれる。
- ・報告・連絡・相談ができる。
- ・業務に対する積極性がある。向上心がある。前向きな人。
- ・落ち着いて物事に取り組めることができる。集中力がある。
- ・教えたことを忘れずに実施できる。
- ・周りの人の話や作業指示をしっかりと聞けること。理解できること。
- ・何事も一生懸命に取り組め、愛される態度があること。
- ・働く上で安定した生活リズム



## 愛知県の最低賃金が10月から変わりました

10月1日から最低賃金が改定されました。愛知県では、1,027円から1,077円に引き上げられました。最低賃金とは、最低賃金法などに基づいて決定される賃金の最低基準額です。雇用者（企業等）が労働者に支払わなければならない最低額の賃金です。

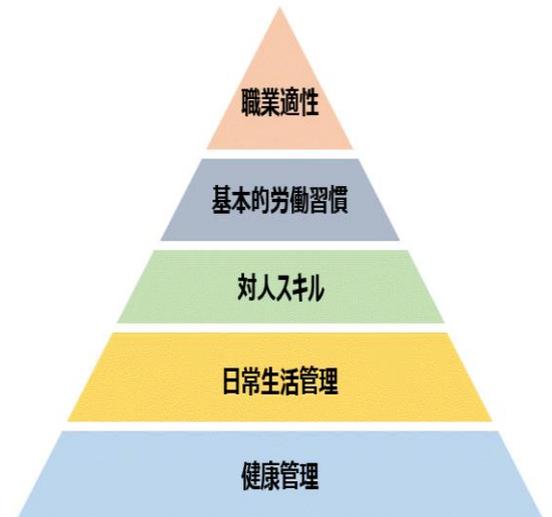
## 2 職業準備性ピラミッド

「職業準備性」は、就労支援において、基本となる観点です。

「健康の管理」では、不調時の対処、通院・服薬管理、「日常生活管理」では、睡眠などの生活リズム、食事の摂取、金銭管理等が職業生活を送るためには土台となる力であり、大切です。

そのうえで、挨拶や身だしなみなどの社会人としてのマナー、周囲と協力して活動できる力、失敗してもそれを乗り越えていける力、なにより意欲的に何かに打ち込める力などが大切です。

就労するというということは、生活自立をまずはしっかり整えなければなりません。家庭の協力が必要となりますので、よろしくお願いします。(参考文献:『実践みんなの特別支援教育』)



## 3 「卒業生の話聞く会」について

12月3日(火)にランチルームで卒業生の話聞く会が行われました。

卒業1年目積善病院(医療・福祉)勤務、卒業2年目株式会社トヨコン(流通業)勤務、卒業5年目株式会社マキタ(製造業)勤務の3名を講師としてお招きしました。保護者の皆様も多数出席していただき、ありがとうございました。一部の保護者の方からの感想です。

3名の卒業生が今までのことや現状を飾ることなく、素直にお話ししていた姿は本当に素晴らしいと思いました。

卒業後も家族のサポートが不可欠だと改めて認識できました。

働いて数年の先輩方の生活リズム、余暇など参考になった。

より具体的に今後の進路について考えることができました。自分の子供も先輩方のように、本宮で働く力をつけて、社会に貢献できるようになってもらいたいです。



来年度も別の業種の卒業生を招いて行う予定です。また、お時間ございましたら、御参加ください。

## 4 卒業後に関わること

卒業から3年を目安に職場定着(アフターフォロー)への支援を学校が主体となって行います。

障害者就業・生活支援センター(略称:なかぼつ)や相談支援事業所と連携をして行っていきます。障害者就業・生活支援センター(略称:なかぼつ)は、職業自立に向けて、職場に定着できるようになるまで、幅広く相談に応じてくれます。学校と連携をし、進路先に同行する場合があります。

在校時に放課後等デイサービス等を活用して、相談支援員さんが付いている方は、担任までお知らせください。

※豊橋障害者就業・生活支援センター

「担当エリア:豊橋市、豊川市(旧一宮町除く)、蒲郡市、田原市」

※東三河北部障害者就業・生活支援センター「ウィル」

「担当エリア:新城市、設楽町、東栄町、豊根村、豊川市(旧一宮町)」

